『読売新聞』2003年12月1日

英語と国際感覚を磨いて世界レベルの自分になる!

全国初の独立行政法人公立大学として開学を目指す国際教養大学に各界の方々から期待が寄せられています。

三菱商事株式会社
取締役会長
槙原　稔さん

財界きっての国際派で国内外に幅広い人脈を持つ。

国際社会において、海外の人たちとの意志疎通やビジネス交渉ができる英語力は、英語が世界のビジネス・ランゲージとなってきた今、不可欠なスキルです。

国際教養大学では、英語のコミュニケーション能力に加え、国際色豊かなキャンパスライフの中で幅広い知識を習得できますので、ここで学んだ人材は厳しいグローバル社会においても、生き生きと仕事をしていけるものと期待しています。

元国連事務次長
明石　康さん

1957年日本人初の国連職員。以後、様々な国際問題に取り組む。

グローバル時代は、それぞれの民族や文化に属する人たちがアイデンティティを自覚する時代であり、お互いを尊重するところから、寛容の精神や相互理解が生まれてくるのです。国籍やバックグラウンドの違う人たちと協力して仕事を組み立てられる人が今求められています。

このような国際的視野を持ち教養と語学力を若いうちに養成する大学が、私の郷里に開学することは誠に喜ばしいかぎりです。

キッコーマン株式会社
代表取締役社長
茂木　友三郎さん

キッコーマンの海外戦略、グローバル化を強力に推進。

私の留学先であった米国コロンビア大学のビジネススクールでの2年間は授業の全てが英語、毎週試験という厳しい生活でしたが、経営戦略の立案と実行について多くのことを学びました。

国際教養大学でのグローバルな知識の修得は、個々のスキルアップに多大な効果があるものと確信しています。国際社会にふさわしい人材として卒業生が輩出される4年後を楽しみにしています。

学長予定者
中嶋　嶺雄

国際社会学者・
前東京外国語大学長

大きく変動している国際社会の中で、日本は存在感を十分にアピールできているでしょうか。グローバルな知の大競争時代に、日本の大学はどれだけ国際競争力を持っているでしょうか。国際社会で存分に活躍し、リーダーシップをとれる人材の教育が十分なされているでしょうか。

これらの危機を克服するために、私たちは今、時代が求める「実学」教育を始めます。21世紀の大学教育を変えるパイオニア的な役割を担う大学にしたいと思います。

▌[公立大学]国際教養大学の概要

外国人が6割を超える教授陣により、授業はすべて英語で行われ、1年間の留学を必修としています。

1〜2年次の基盤教育では、実践的英語力とコンピュータ・スキルを身につけると共に、国際人の基礎となる教養を学び、2年次の終りにそれぞれの専門課程を選択します。

3〜4年次の専門教育のうち、米国大学の国際ビジネス・プログラムを導入したグローバル・ビジネス課程では、基本的理論を体系的に学ぶと共に、実践的ビジネス能力を養います。また、グローバル・スタディズ課程は、北米分野と中国分野に分かれ、地域研究を基礎に世界の多様な政治、経済、社会や文化、そして、これらの国々と日本の関係を中心とする国際関係を学びます。

さらに、留学生と日本人学生が共に学ぶ日本研究コースにおいては、日本の歴史や社会、文化などを総合的に学ぶ「日本学」の修得も可能です。外国語教育と東西文化の学術交流拠点となることを目指します。

広大な美しい森に囲まれたキャンパスは勉学環境としても最高で、一年生は個室全寮制となります。

国際教養学部〔主な開講予定科目〕

○基盤教育

英語集中課程(EAP=English for Academic Purposes　※学術目的のための英語スキル。大学での学習に不可欠な英語力を養成します。)

コミュニケーション科目／●スピーチ・コミュニケーションの基礎　●英作文Ⅰ　●英作文Ⅱと図書館調査手法序論　●コンピュータ・リテラシー　●日本語表現スキル

グローバル科目／●社会学　●心理学　●文化人類学　●統計学　●芸術・芸術論(音楽と演奏)　●レクリエーション　●保健体育講義　●グローバル研究概論　●日米関係史　●異文化間コミュニケーション　●環境科学Ⅰ　●平和科学(紛争予防外交論)　●東洋思想文化　●文明論　●国際開発論　●国際協力・援助論　●日本語音声学　●日本史　●日本文学　●日本の伝統芸能　●東北文化入門

○専門教育

グローバル・ビジネス課程／●会計学原理　●マクロ経済学　●国際政治と経済　●企業財務　●国際ビジネス　●マーケティング原理　●企業戦略論　●国際財務マネージメント　●サプライチェーン・マネジメント　●起業家精神　●国際マーケティング論

グローバル・スタディズ課程／●北米研究概論　●東アジア研究概論　●アメリカ近・現代史　●アメリカの経済政策　●日本の対米政策　●中国政治経済　●華人経済論　●中国の民族文化概論　●国際報道論　●国際環境科学　●現代中国の映像芸術と社会

2004年4月開学予定の公立大学

全部英語・留学必修

国際教養大学
Akita International University

大学の所在地　秋田県河辺郡雄和町奥椿岱193-2　※現在、改修工事中です。

お問い合わせ　秋田県企画振興部　国際教養大学設置準備事務局
〒010-8572 秋田市山王3丁目1-1
Tel.018-860-5451　Fax.018-860-5454

ホームページ　URL http://www.pref.akita.jp/gakujutu/kokusai.html
※「国際教養大学」で検索することもできます。

○トップ諮問会議委員<予定>

(高等教育のあり方等について、提言します)

氏名	役職
明石　康	元国連事務次長
大宅映子	評論家、ジャーナリスト
田村哲夫	学校法人渋谷教育学園理事長
ドナルド・キーン	コロンビア大学名誉教授 日本学士院客員
辻　兵吉	秋田商工会議所会頭
野田一夫	多摩大学名誉学長、初代宮城大学長
茂木友三郎	キッコーマン(株)代表取締役社長 中央教育審議会副会長

○創設準備委員会

(国際教養大学は、次の委員が中心となり、創設を準備しています)

創設準備委員	委員長:中嶋嶺雄	アジア太平洋大学交流機構(UMAP)国際事務総長
	副委員長:グレゴリー・クラーク	多摩大学名誉学長
	委員 明石　康	元国連事務次長
	生駒俊明	東京大学名誉教授
	小野寺　清	秋田県教育長
	ジャネット・デインズ	ミネソタ州立大学機構国際教育部長
	菅原　洋	秋田県高等学校長協会会長
	須田精一	秋田県電子工業振興協議会長
	紬田英哉	国際交流基金理事・日米センター所長
	ドン・ニルソン	元ミネソタ州立大学秋田校学長及び同校教授
	中津井　泉	リクルート「カレッジマネジメント」編集長
	野田一夫	多摩大学名誉学長、初代宮城大学長
事務局員	鮎澤孝子	東京外国語大学外国語学部教授
	村松増美	同時通訳者、NPOえむ・えむ国際交流協会代表

○入学者選抜の概要

学部	課程	入学定員	募集人員					
			一般選抜			AO・高校留学生選抜Ⅰ	推薦入学	帰国子女特別選抜
			前期A日程	前期B日程	後期日程			
国際教養学部	グローバル・スタディズ(北米分野・中国分野) グローバル・ビジネス	100人	20人	40人	10人	15人	15人	若干名
		試験教科(配点)	国語(150点) 英語(200点) 地歴・公民(100点)	国語(150点) 英語(200点) 地歴・公民(100点) 数学(100点) 理科(50点)	英語(200点) 小論文(100点)	面接 / 小論文		
		出願期間	1月7日(水)〜18日(日)		2月18日(水)〜3月4日(木)	12月10日(水)〜29日(月)	1月24日(土)〜2月10日(火)	
		試験日	2月1日(日)	2月14日(土)・15日(日)	3月20日(土)	1月7日(水)	2月14日(土)	
		試験地	秋田・東京 大阪・仙台	秋田・東京 大阪・仙台	秋田・東京 大阪・仙台	秋田	東京	

※学生募集要項配布中です。詳しい請求方法等は、事務局までお問い合わせください。